

## 業務報告

### 果樹班

果樹では、柑橘類として、温州ミカン、伊予柑、甘夏柑、ネーブル、ポンカンおよび不知火、落葉果樹として、モモとブドウの落葉果樹の栽培管理を行った。

#### 1. 平成 28 年度の概要

今年の柑橘類は、発芽期、開花期ともに順調な生育となった。冬の気温は高かった。春から初夏にかけて曇りや雨が多く、7月から8月は太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。8月は記録的な少雨になった。秋は曇りや雨の日が多くなった。平均気温および降水量は平年より高いまたは多く、日照時間は平年より少なかった。

柑橘類は、裏年となったため全体的に収量が減った。伊予柑とポンカンは表年となり、収量が増加した。落葉果樹は、ブドウの収量はやや減少していた、モモの収量が減少した。これは、実験の影響と樹齢による枯れ込みが原因となった。そのためモモは改植中である。

#### 2. 作付け状況と収量（販売数量）

栽植樹種、栽植年次、作付面積、販売数量および前年比を第1表に示した。今年の柑橘類は裏年のため、温州ミカンは昨年より39.9%減の販売数量であった。伊予柑とポンカンの販売数量は昨年より増加した。落葉果樹も、モモは実験の影響で販売量は減少した。シャインマスカットの生産が安定してきたが、天候の影響もありブドウの全体の販売数量は13.7%程度減少した。

第1表 栽植状況と収量（販売数量）

栽植樹種	栽植年次	作付面積(a)	販売数量(kg)	前年比(%)	備考
早生温州ミカン	S. 55. 6	49.0	11,925	60.1	
晩生温州ミカン	S. 57. 3	36.0			
	H. 8. 3				
宮内伊予柑	S. 56. 3	46.0	4,845	104.0	
甘夏柑	S. 56. 3	14.0	1,887	54.0	
ネーブル	S. 56. 3	7.0	770	75.0	
ポンカン	H. 5. 3	10.0	327	138.6	
不知火	H. 8. 3	37.0	1,606	48.5	
その他の柑橘		17.5	725	103.6	レモン等
小計		216.5	22,085	66.4	
モモ	H. 12. 9	10.0	257	36.9	
ブドウ	S. 61. 3	7.5	1,957	86.3	
シャインマスカット	H. 22.				
その他の落葉		48.5	184	46.9	キウイフルーツ等
小計		66.0	2,398	61.5	
合計		282.5	24,483	84.6	

### 3. 所要労力

果樹班は、昨年と同じ3名で栽培管理を行った。作業別労働時間を第2表に示した。全体の労働時間は4785.0時間であった。作業別労働時間の中では収穫・調整・出荷がもっとも多く、全体の28.1%となった。また、7～9月のブドウの袋掛けと収穫、2月のデコポンの収穫作業で、他班から応援を受けた。中学生対象の職場体験学習や各種イベントなどでも収穫、調整作業を行った。

第2表 作業別労働時間(平成28年4月～29年3月)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	%
整枝・剪定・接木	146.5	152.0	122.0	95.5	42.5	6.5	4.0		12.0	97.5	36.5	194.0	909.0	19.0
施肥			6.0			13.5	7.5		6.5	6.5	7.5	18.5	66.0	1.4
草刈り・草削り	19.5	52.0	37.5	28.5	13.0	32.5	53.0	6.5	2.0	20.0		1.0	265.5	5.5
摘粒・摘果・袋掛		19.0	167.5	51.5	92.5	90.0	35.5						456.0	9.5
農薬散布・管理	45.0	104.0	44.5	84.5	60.5	11.0	65.5			51.0	18.5	3.0	487.5	10.2
灌水・防風管理					21.0	1.0			3.0	1.0		1.0	27.0	0.6
収穫・調整・出荷	93.5		28.0	19.5	82.0	100.5	92.5	188.0	243.5	120.0	275.5	100.0	1343.0	28.1
農機具管理	7.0	2.0	4.0	2.5	1.0	2.5	5.5	15.5	5.5	5.0			50.5	1.1
設備管理	10.0	10.5				17.5	30.0	2.0	4.0	16.5		10.0	100.5	2.1
園地整備	44.5	16.5	5.0	70.5	12.0	33.0	63.0	84.0	34.5	9.0	9.0	81.0	462.0	9.7
調査・データ整理	6.5	8.0	7.0	13.0	7.5	6.0	4.0	30.5	18.0	11.5	11.0	13.0	136.0	2.8
研究・実習補助	4.0	6.0	5.0	10.5	23.0	27.0	7.5	45.0	18.0	8.0			154.0	3.2
共同作業							4.0						4.0	0.1
会議・その他	8.5	4.0	7.5	18.5	7.5	17.5	10.0	30.0	15.5	8.5	12.5	15.0	155.0	3.2
研修	2.0					42.5				19.5	9.0		73.0	1.5
他部からの応援	5.0			4.0	13.5	1.0					10.0		33.5	0.7
他部への応援	4	6	8	5	5.5	3	6	5	6	5	4	5	62.5	1.3
合計	396.0	380.0	442.0	403.5	381.5	405.0	388.0	406.5	368.5	379.0	393.5	441.5	4785.0	100.0

### 4. 今年度の課題

本年度は裏年と天候の影響で収量は減少した。隔年結果の防止や天候に左右されない樹体づくりのため、果樹でも栽培管理の見直しを行い、また作業の省力化を推し進めていく必要がある。当農場では環境に優しく、また食の安全のため、柑橘類の一部においてはエコえひめの認証をとり、化学肥料と化学農薬を使用しない栽培を行ってきた。その他の柑橘類においても、農薬の散布回数を通常の半分以下に抑えた。これからも、柑橘類においては農薬をできるだけ使わない栽培を続けたい。また、有望柑橘類への品種更新も行っていきたい。